

一般質問

区政をきく (一般質問)

平成29年第4回定例会では、区政全般について、
11名の議員が一般質問を行いました。
以下、概要をお知らせします。

11月24日(金)	本多 健信 議員(自・未)
	中塚 亮 議員(共産)
	木村 けんご 議員(民・無)
	あくつ 広王 議員(公明)
	田中 さやか 議員(ネット)
11月27日(月)	たけうち 忍 議員(公明)
	渡辺 裕一 議員(自・未)
	大倉たかひろ 議員(民・無)
	伊藤 昌宏 議員(自・未)
	のだて 稔史 議員(共産)
	須貝 行宏 議員(無品)

会派名は次の略語で記載しています。
自・未……品川区議会自民党・子ども未来 公明……品川区議会公明党
共産……日本共産党品川区議団 民・無……民進党・無所属クラブ
無品……無所属品川 ネット……品川・生活者ネットワーク



問 LGBTなどの性的マイノリティーの理解促進と支援に向けた計画の進捗が急がれる。人権尊重都市品川宣言にSOGI差別禁止の追

答 教育委員会としては、選択制で各学校が切磋琢磨し地域の方々の結びつきは、より強まっていると考えている。小学校では隣り合う学校から選択するという考え方が審議会より出された。

問 選択制によって学校と地域との関係を希薄にし、災害時の対策に課題を作っている。しかし学校と地域の希薄化を認めようとする、なぜか。選択制の中止を求めるが、いかがか。

答 教育委員会としては、選択制で各学校が切磋琢磨し地域の方々の結びつきは、より強まっていると考えている。小学校では隣り合う学校から選択するという考え方が審議会より出された。



中塚 亮 議員
(共産)

問 加を求めるが、いかがか。SOGIという考え方を宣言の内容に盛り込む事が可能か、慎重に検討していく必要がある。

答 区民や事業所への調査を元に、国、都、他区を参考に性別にとらわれない人権尊重、多様な生き方への配慮を基本的視点の一つとして行動計画に盛り込んでいく。長期計画も必要があれば盛り込んでいきたい。

問 長期計画や男女共同参画のための行動計画に、性的マイノリティー等多様な性への理解促進と支援の明記を求めるが、いかがか。

答 区民や事業所への調査を元に、国、都、他区を参考に性別にとらわれない人権尊重、多様な生き方への配慮を基本的視点の一つとして行動計画に盛り込んでいく。長期計画も必要があれば盛り込んでいきたい。

問 積極的な交渉でニコン工場跡地を購入し特養ホームなど住民要望に今年1月に区長名でニコンあてに区への土地売却を求める要望書を提出したが、購入交渉の進捗状況は。区の強い姿勢を伝えるため2回目の要望書提出とニコンに出向いての直接交渉は、どうか。

答 売却の場合には選択肢に区も加えるよう要望書を出したが、ニコンからは現在も活用方法については未定だと聞いている。動向を注視し、区の意向を申し入れる。

問 その他の質問
・9条改憲反対と核兵器廃絶を

本多 健信 議員
(自・未)



問 防犯対策の強化について
夜間・深夜の女性の一人歩きはなるべく避けたほうがいいとはわかっていても、現実には困難である。夜間・深夜における監視の目が薄まる時間帯での路地裏のパトロール等、対応について所見を。

答 女性自身に防犯意識を持ってもらうことも重要であるため、警察や関係団体等と連携し、啓発活動に努めていく。地域の安全を見守る防犯カメラについても、引き続き設置促進を図り、公園など区施設への設置の拡大を検討していく。

問 警察官OBの非常勤職員19名による生活安全サポート隊が、7時30分から22時まで、パトロール車5台体制で区内を巡回しているが、現行の巡回時間を夜間、深夜へと拡大する考えはないのか。

答 警察官OBの非常勤職員19名による生活安全サポート隊が、7時30分から22時まで、パトロール車5台体制で区内を巡回しているが、現行の巡回時間を夜間、深夜へと拡大する考えはないのか。

答 夜間、深夜帯については、さらなる犯罪抑止を目的として、警察がパトロールカーによる巡回を強化している。地域における防犯パトロール活動などの自主的な取り組みのほか、生活安全サポート隊の活動など、地域全体で防犯対策を推進してきた結果、女性を狙ったひったくりや性犯罪などの発生も減少傾向にある。

問 文化財について
143ある区指定文化財の内、おみこしは徳川家康公が奉納した品川神社の1基だけである。区内の宝物殿等に複数あるおみこしを、区指定文化財として位置づけては。

答 おみこしの文化財指定は、由緒、年代、歴史的希少性等を要件としており、文化財保護審議会の意見も聞きながら判断をしていきたい。

問 都と区のあり方について
教職員の人事権について、新規採用時より定年まで区で任用することが望ましいと思うが、所見を。

答 都で採用された教員は異動要件等の制約があり、退職まで区で勤務させることは極めて難しい。

問 その他の質問
・食中毒などから健康を守る取組みについて

木村けんご 議員
(民・無)



問 人手不足の解消、今以上にシニア世代の力の活用を
定年を迎えた後もまだまだ働きたいと思う人が数多く存在する一方で、シニアを貴重な戦力として捉えている雇用先はまだ少ない。区はアクティブシニアの労働力をどのように生かしていくのか。

答 高齢社会を支える貴重なマンパワーとして位置づけ、就労機会の創出や、地域社会への参画を促していくことが重要と考えている。

問 店舗等での補助犬同伴の対応について
身体障害者補助犬法が施行されて15年たつが、今なお盲導犬の入店拒否等が後を絶たない。店舗と建設的な話をする事なく店を後にしたという例も少なくないと聞くが、どうすれば受け入れ側に身体

答 高齢社会を支える貴重なマンパワーとして位置づけ、就労機会の創出や、地域社会への参画を促していくことが重要と考えている。

問 その他の質問
・現在の学校トイレ洋式化、今後の計画について

答 障害者補助犬法を理解してもらえないのか。

問 2020東京オリンピック・パラリンピックに向けバリアフリー化の加速を
横断歩道から歩道へ上がる際の1、2センチの段差は、高齢者や障害者には、大きなバリアになる。これから全てをつくり直すのではオリンピック・パラリンピックには間に合わない。まずは、区民が利活用する全ての障壁となる段差をゼロにすべきでは。

答 様々な利用者の意見を聞き、工夫することで段差をゼロにすることは可能であると考える。区内には、区道や都道、国道など、管理主体が異なる道路があるため、それぞれの状況に応じた利用者の安全確保等について、国や都と連携し、バリアフリーを進めていく。

問 その他の質問
・現在の学校トイレ洋式化、今後の計画について

答 様々な利用者の意見を聞き、工夫することで段差をゼロにすることは可能であると考える。区内には、区道や都道、国道など、管理主体が異なる道路があるため、それぞれの状況に応じた利用者の安全確保等について、国や都と連携し、バリアフリーを進めていく。

問 その他の質問
・現在の学校トイレ洋式化、今後の計画について

答 様々な利用者の意見を聞き、工夫することで段差をゼロにすることは可能であると考える。区内には、区道や都道、国道など、管理主体が異なる道路があるため、それぞれの状況に応じた利用者の安全確保等について、国や都と連携し、バリアフリーを進めていく。